

福島第一原子力発電所の排水路データ公表の遅れについてのお詫び

- 排水路出口のデータは除染等の効果を把握するためH26年4月より採取していましたが、公表やご説明ができておりませんでした。福島県の皆さま、漁業関係者をはじめとする社会の皆さまのことを第一に考える気持ちが不足しておりました。その至らなさを深くお詫びいたします。
- H26年より、構内の雨水・地下水が流れる排水路周辺の除染、道路・排水路の清掃を実施してきましたが、建屋近くを通る排水路（K排水路）は他の排水路に比べ放射能濃度が高く、原因を調査していました。
- K排水路に流れ込む上流部を調査していたところ2号機原子炉建屋大物搬入口屋上*のたまり水に高濃度の放射能が確認されたため原子力規制庁に報告、公表いたしました。（H27年2月24日）
- 現在、雨水の汚染防止対策・排水路への浄化材の設置・排水先を港湾内に変更するなどの対策に着手しております。
- H27年2月25日には高木経産副大臣からご指示を頂き、被災された住民の皆さまや国民の皆さまの目線に立ち、広く網羅的に、リスクの総点検を行っております。
- なお、港湾外の海水中の放射性物質濃度は低い濃度のまま、大きな変動は見られません。
- また、原子力改革監視委員会からの提言等を踏まえ、情報公開の新たな方針「周辺環境に直接影響を及ぼす水やダストに関する全ての放射線データを公開することを原則とし、国内外の専門家がチェックする」を取り纏めました。今後は、この方針に基づき、情報公開をすすめてまいります。

(*：調査の代表箇所として選定)

(1) 検討・対策の経緯

H23年3月：原子力事故

H25年8月：汚染水タンク漏えい

*：特定原子力施設監視・評価検討会(H26年1~3月)
現地調整会議(H26年2月)ほか

※：排水路内の汚泥や山側斜面の汚染が原因と推定
※※：排水路の清掃、山側上流部の除染等の対策を実施

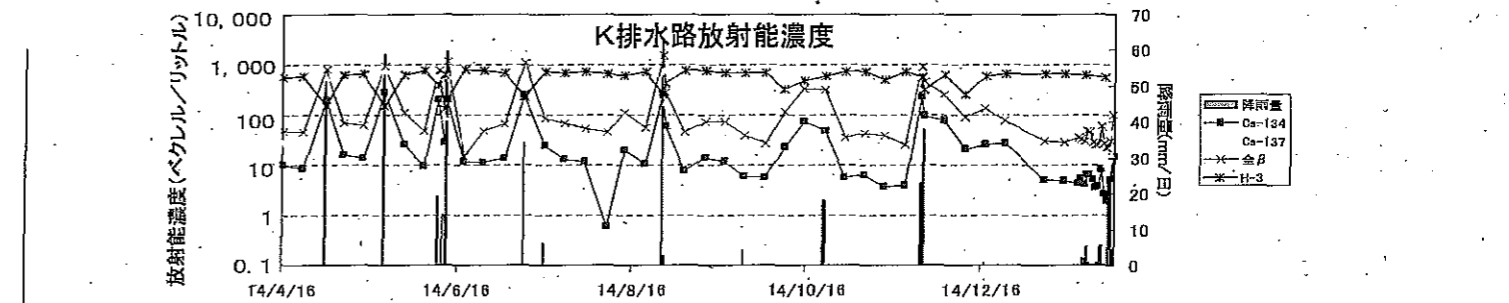
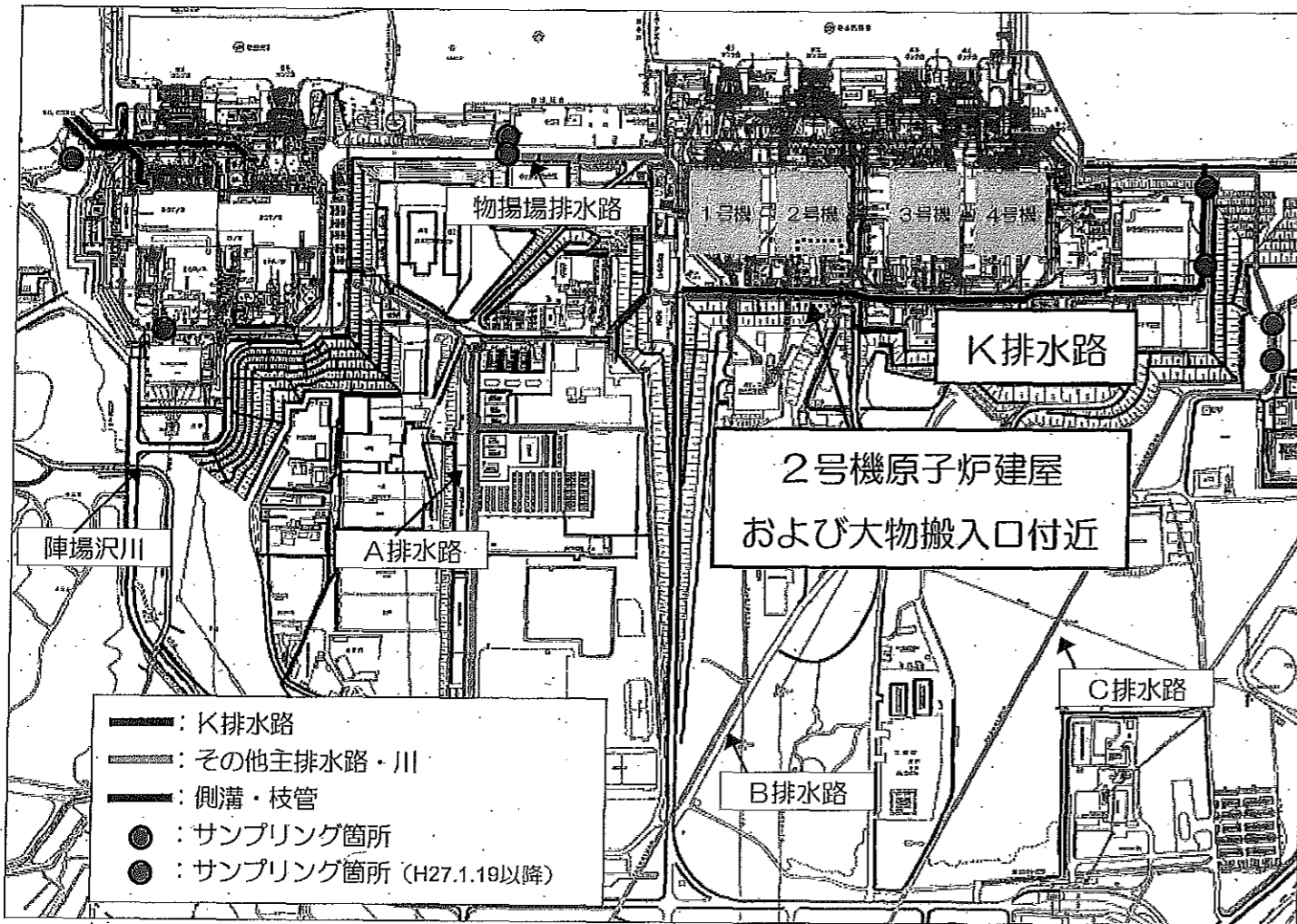
【事故前】 排水路は原子炉等 規制法の管理対象外	従前の管理状態を継続 管理・測定のリール化 なし(汚染水等他対策を優先)	タンク近くを通るB・C 排水路の対策実施 (港湾内へのルート変更等)	【H26年1~3月】 国の会議*で排水路の 測定値を報告 →線量低減対策の指示を受ける	【H26年4~12月】 汚染の原因を推定*し、 線量軽減のための 対策**を実施	【H27年1~2月】 K排水路は他に比べ 放射能濃度高く、 他原因の調査を実施	【H27年2月】 K排水路上流部に 高濃度の放射能を 確認(2月24日)
--------------------------------	--	--	--	---	--	---

(2) 排水路・2号機大物搬入口について

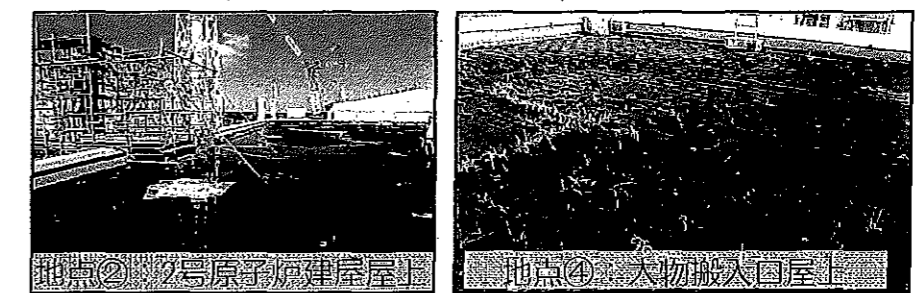
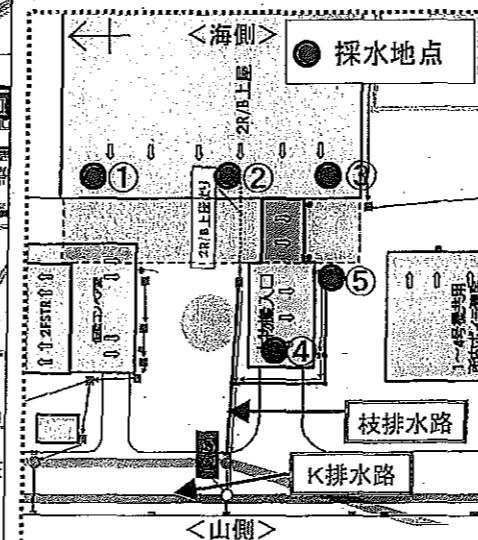
データを公表・ご説明できていなかった→

対策の効果を把握するため、排水路のデータを取得

■K排水路・2号機の位置



■2号機建屋屋根面の水質分析結果(2号機原子炉建屋(R/B)屋上、大物搬入口屋上)



NDは検出限界値未満 ()内数値は検出限界値<単位:ベクレル/リットル>

地点	地点調査地点	セシウム134	セシウム137	全ベータ	ストロンチウム90	トリチウム	採水日
①	2号R/B屋上(北)	200	650	920	10	ND(100)	H27.1.16
②	2号R/B屋上(中)	340	1,100	1,900	12	ND(100)	H27.1.16
③	2号R/B屋上(南)	300	990	1,900	20	ND(100)	H27.1.16
④	大物搬入口屋上	6,400	23,000	52,000	4.5	600	H27.2.19
⑤	大物搬入口壁樋(東)	920	3,200	9,700	ND(3.1)	ND(100)	H27.2.18

■K排水路排水口の濃度は搬入口屋上に比べ低い値(例:セシウム137:数十~数百ベクレル/リットル)

(3) 海水モニタリングの状況

■海水については、定期的に放射能濃度のサンプリングを行っています、低い濃度のまま大きな変動は見られません。

※単位:ベクレル/リットル ()内日付は採取日 数値は至近の値

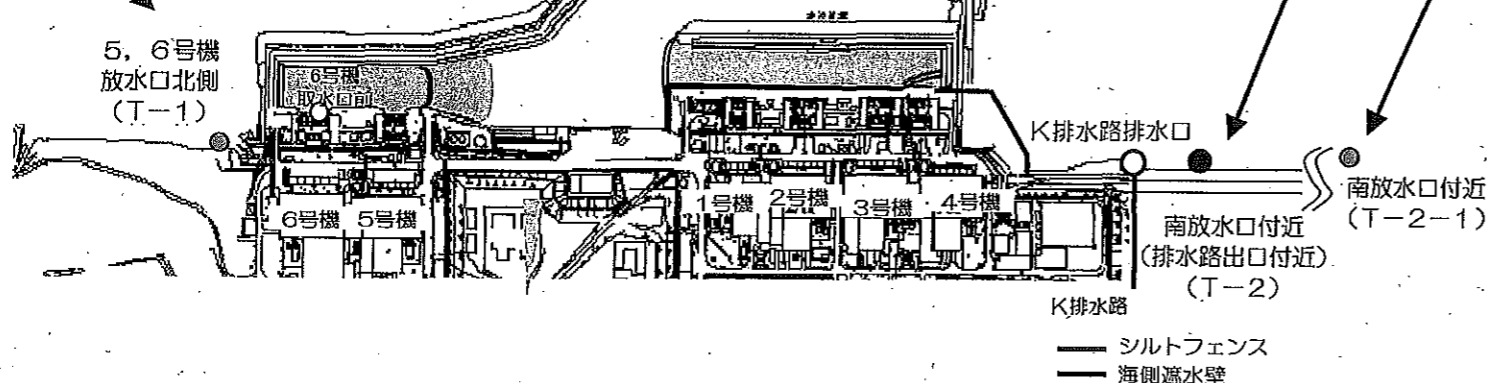
セシウム137: 検出限界値(0.59)未満(3/3)
全ベータ: 検出限界値(15)未満(3/3)
トリチウム: 検出限界値(1.5)未満(2/23)

セシウム137: 検出限界値(0.54)未満(3/3)
全ベータ: 1.1(3/3)
トリチウム: 1.7(3/3)

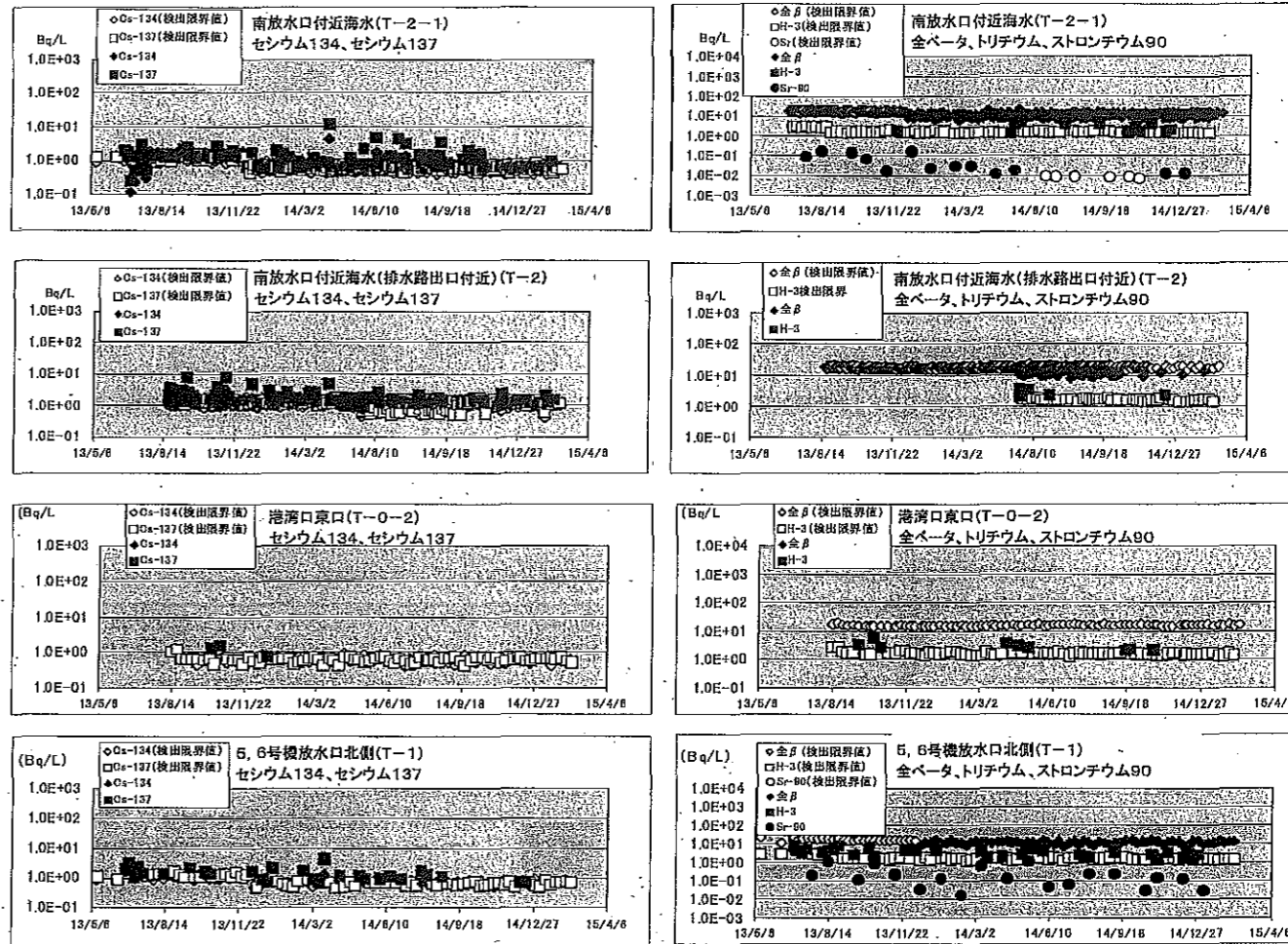
セシウム137: 2.4(3/3)
全ベータ: 8.3(3/3)
トリチウム: 検出限界値(1.6)未満(3/3)

セシウム137: 検出限界値(0.76)未満(3/6)
全ベータ: 1.2(3/6)
トリチウム: 検出限界値(1.4)未満(3/6)

5,6号機
放水口北側
(T-1)



✓海水の状況(港湾外海水の各種分析結果推移)



(4) 対策の状況

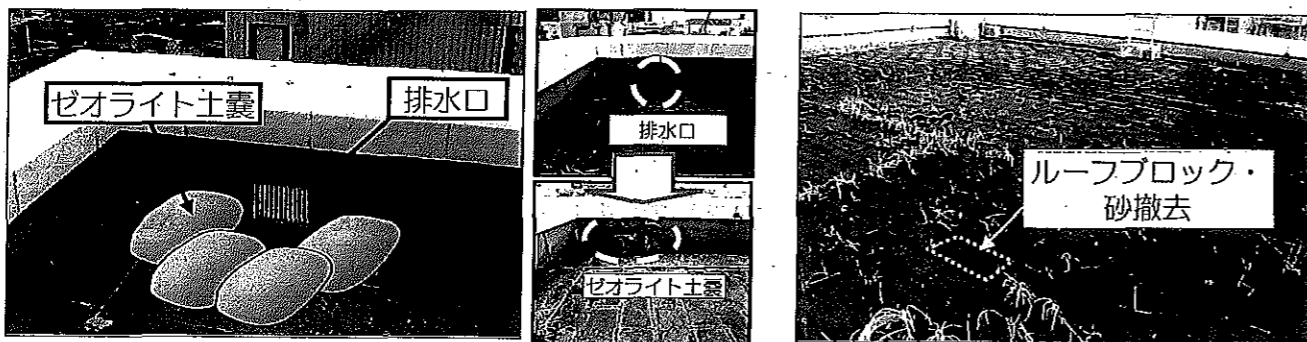
■2号機原子炉建屋大物搬入口屋上部の雨水の汚染防止対策

✓汚染箇所をブルーシート等で養生(3月2日完了)



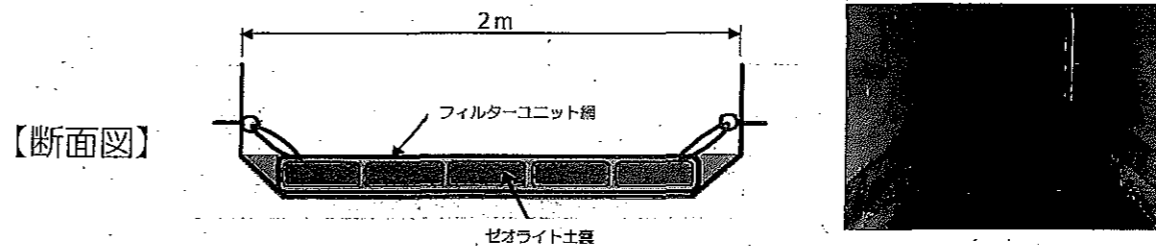
✓汚染水排水口廻りにゼオライト(セシウムを吸着)土嚢を設置(2月27日完了)

✓汚染源と考えられる屋上のルーフブロック、敷き砂等を撤去(3月末までに実施予定)

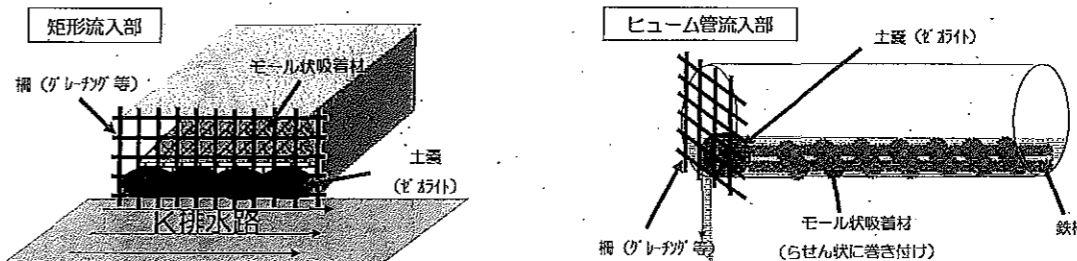


■K排水路に関する対策

- ✓K排水路の清掃(実施中)
- ✓K排水路主要部に浄化材を設置(2月9日から順次実施中、3月末までに設置予定)



✓K排水路建屋側枝排水路の流入部に浄化材を設置(3月末までに設置予定)



✓K排水路の水をポンプでくみ上げ、C排水路(港湾内に排出ルート変更済み)へ排出(4月上旬移送開始予定)

●最終的には、K排水路を港湾内にルート変更する方向で検討中